

## 平成30年6月 香美町教育委員会（定例会）会議録

### 【開会・閉会の年月日】

平成30年6月26日（火）午後2時00分～午後4時00分

### 【場所】

香美町村岡地域局3階 301会議室（香美町村岡区村岡390番地の1）

### 【会議に出席した者の職・氏名】

教育長	藤原 健一
教育委員	山崎 つるみ
	安田 優二
	野村 道彦
	吉田 加代子

### 事務局

教育総務課長	片山 正幸
教育企画研修室長	清水 幸信
こども教育課長	楠田 千晴
こども教育課参事	磯田 英昭
生涯学習課長	中村 和弘
教育総務課主査	大城 優

### 【会議に欠席した委員の職・氏名】

なし

### 【議事日程】

会議に付した事件も、同じく別紙議事日程のとおりである。

- 1 開会  
(教育長) 開会宣言
- 2 会議録署名委員の決定  
(教育長) 会議録署名委員に安田委員を諮り、全員承認
- 3 会期の決定  
(教育長) 会期は本日1日限り
- 4 会議録の承認  
前回会議録を会議に諮り、全員承認

## 5 教育長報告

5月25日から6月25日までの期間（前回の教育委員会～昨日）に開催、出席した会議・行事等について資料により報告

### ○大阪北部地震について

- 6月18日午前7時58分ごろ発生。校園所へ子どもたちの安否と被害状況を確認
- 6月19日、施設・通学路内におけるブロック塀及び空き家等の危険箇所について調査
- 村岡小学校及び兎塚小学校において建築基準法違反のブロック塀を確認
- ブロック塀の撤去作業等が完了し安全な状態になるまで、子どもたちが危険箇所に近づかないよう注意喚起の標示等を設置

## 6 協議事項

### (1) 平成30年度香美町教育委員会の点検・評価について

（教育総務課長）

教育委員会の事務事業について、毎年点検・評価の結果を報告書として議会に提出し説明するとともに、町のホームページ等で公表しています。

→点検・評価の概要について、清水教育企画研修室長が説明

→教育委員会の事務事業の点検・評価調書について、各担当課長が端的に説明

### 【質疑内容】

（安田委員）

教育総務課担当の「ふるさと食材調理実習教室」についてですが、実施状況の上段にある14回実施された調理実習と「ふるさとの魚調理実習」とは別の事業であると考えてよろしいでしょうか。

（教育総務課長）

その通りです。上段の調理実習は地元食材を使用したものですし、下段の調理実習は新聞等でも紹介された「地元産のアジ」を活用した三枚おろしの体験です。

（安田委員）

少しわかりにくい印象がありますので、記述を工夫していただければと考えています。

（教育総務課長）

了解しました。

（安田委員）

「アジの三枚おろし」については、体験した生徒がとても良かったと話していました。

（教育長）

私も三枚おろしの調理実習を見に行きました。中学校の生徒たちは、漁協や「とと活隊」の皆さんに手厚く指導していただき、とても上手にアジをさばっていました。料理も店で出されるような仕上がりで、生徒たちもしっかりと味わって食べていました。また、漁協の皆さんもとても喜んでおられました。

（野村委員）

『事務事業点検・評価調書』の総合評価にある「方向性」の項目の順番についてですが、『平成30年度 教育委員会の点検・評価（案）』で示されているものと異なっています。『調書』の項目の順番を『点検・評価（案）』のものと同じにすることはいかがでしょうか。

(教育長)

少しわかりにくいと思いますので、野村委員のご提案通り訂正させていただきます。

(野村委員)

『点検・評価(案)』の7ページに「学校間スーパー連携チャレンジプラン」のことが書かれています。「小規模校園の弱みといわれている人間関係の固定化や序列化の克服」という表現で解説されていますが、「いろいろな人とかかわることで人間関係を構築する能力が養われる」というような文章表現に今後変えていってはどうかと考えています。

高井子育て・子育て支援センターの利用者が非常に少なくなってきたと伺いました。村岡区の保育所が統合し、新園舎の建設が計画されています。保育所と支援センターの機能はもちろん違うのですが、両者の連携を図ったり、保育全般について相談できる機能を保育所に新たに持たせたりすることなども検討してはいかがでしょうか。

一貫化教育の今後の方向性についてですが、義務教育の中で育成したい児童・生徒像や具体的なカリキュラム等における香美町の考え方について非常に関心があります。

(こども教育課長)

子育て・子育て支援センターの件についてですが、高井の支援センターの利用者が減っているのではなく、村岡区の対象者の総数であると考えています。小代区では、町外で生まれた後に転入された方が何名かいらっしゃることもあり、利用者が少しずつ増えていることも考えられます。

全体的な傾向ですが、平成35年度までは村岡区内の対象者の落ち込みが激しい状況です。支援センターとしては、対象者が少なくなればなるほど、子育てに対する不安の相談先が減少するため、交流回数が多くなるよう積極的に働きかけています。また、3つの支援センターが合同で実施する事業に参加された方から「ほかの区域の方と交流することで、今まで思ってもみなかったような子育ての考え方に気づかされた」というような感想が寄せられました。今後、全町的な活動をさらに増やしていくことも考えなければならないと思っています。

一貫化教育についてですが、校区ごとに取組の差異が激しいのが正直なところです。小代小学校と小代中学校では、中学校の教師が積極的に小学校を訪問し、指導しています。村岡区でも徐々に同様の取組を進めています。

現在香美町では、英語教育と外国語教育とに力点を置いていますので、中学校で英語を教えている教師が小学校へ出向き、授業の指導や英語の資格を持たない教師への研修等、小学校と中学校が一体となって教育を進めようとしています。特に家庭教育については、中学校区を単位として小学校と中学校とがしっかりと連携し同じ方向を向き、家庭での教育のあり方について発信していくよう考えています。

カリキュラムについてですが、香美町の実態として複式学級等の学級編成上の問題があることもあり、9年間を見通したものを構築するという点で課題があります。しかしながら、それらの課題を一つずつクリアしながら、取組を進めていきたいと考えています。

(教育総務課長)

チャレンジプランの表現についてですが、これは平成29年度の『教育の重点』において掲げている、「小規模校園の弱み・短所と一般的にいわれている人間関係の固定化・序列化、社会性の不足などの不安面を克服するために、学校間スーパー連携チャレンジプランを行う」という目標に対する成果としてお示ししていますので、この表現でご理解を賜りたく存じます。

(野村委員)

了解しました。

(教育長)

野村委員が言われたように人間関係を作っていくという観点では、チャレンジプランがとても重要だと思います。一貫化教育においても小学校から中学校へスムーズに入っていけるという点では、

チャレンジプランが非常に効果的であると考えます。中学校の校長先生が高評価をしているのは、そのためではないでしょうか。

こども教育課長が話した通り、一貫化教育の最終目標はカリキュラムの編成だと思います。例えば一つの中学校区に多数の小学校がある場合、中学校の教師が多く的小学校を訪問することは容易なことではありません。一貫化教育を考える際、カリキュラムに手を加えることが非常に効果的であると考えていますが、非常に難しい問題が出てくると思いますので、委員の皆さん方からもご示唆いただければと考えています。

(吉田委員)

『事務事業点検・評価調書』の「予算額」及び「決算額」の表記についてですが、事業ごとに違うように思いますので統一されてはいかがでしょうか。

(教育長)

吉田委員からご指摘があった通り、予算措置がされていないものについての表記が「0」と「-」と2種類混在しています。表記を統一させていただきます。

(山崎委員)

先ほどの野村委員の意見に私も同感です。

チャレンジプランを説明する際に「小規模校の弱み」という表現がよく使われますが、マイナス面に受け取られることが多いので、プラスイメージの表現に徐々に変えていただければと思います。また、今後複式学級が増えてくることが予想されますので、複式学級の良さについてもあわせて明記していただければと考えています。

高井子育て・子育て支援センターの利用者が減少している件についてですが、立地条件もその要因として考えられるのではないのでしょうか。香住や小代の支援センターのように、ほかの施設に隣接していればお母さん方がより利用しやすいように思うのですが、いかがでしょうか。

(吉田委員)

小代区の支援センターについても社会福祉協議会のある「いこいの里」の一角に移転し、その駐車場内に遊具のある児童公園が整備されました。「いこいの里」は高齢者の方が多く活用されているので、自然と多世代間で交流ができます。若いお母さん方や子どもたちにも、活気がある場所のほうが喜ばれるのではないのでしょうか。

(こども教育課長)

確かに山崎委員や吉田委員が言われるように香住・小代区の支援センターは福祉施設内に設置されています。ご指摘の部分もよくわかりますので、ご意見としていただいております。

(野村委員)

以前は土曜日や日曜日に支援センターでの活動が行われていたように思います。平日の利用が難しいお母さん方もいらっしゃいますので、土曜日に開いている保育所を子育ての悩みを相談する場所として活用することも考えられるのではないのでしょうか。

こども教育課長が先ほど話されていた、全町的な合同事業のような環境が平常時に提供できるような場所があることが一番理想的なことだと思います。

(教育長)

村岡中学校の付近に遊具のある児童公園を計画していますが、それにあわせて高井の支援センターを移転するという事は容易ではありません。今ある場所においてどのようなことができるかについて、こども教育課を中心に検討させていただきます。

(こども教育課長)

チャレンジプランの「小規模であるが故の弱点」と言われがちな部分ですが、小規模校の保護者

の皆さんの不安を取り除くことから取組が出発していますので、どうしてもそういう表現をせざるを得ないという部分もあろうかと思えます。ただ、兵庫県の『指導の重点』のキャリア教育を通して身に付ける基礎的な力の中に、野村委員からご指摘がありました人間関係形成・社会形成能力というものがあり、子どもたちがこれからの世の中を生きていくためには、この能力が必要不可欠です。また、山崎委員が言われるように、マイナスから出発してそれをプラスに転じるという考え方でなく、今あるものを更にプラスにするという表現のほうが確かに前向きに聞こえると思えます。しかしながら、チャレンジプランの出発点に保護者の不安があったということは紛れもない事実ですので、文章化する際にこの表現を使わざるを得ないということは否めません。

私たち教育委員会の職員は、社会通念上一般的に言われている「小規模であるが故の弱点」について、香美町の子どもたちが同様の状況にあるとは決して思っておりませんし、その心意気で日々の業務に臨んでいます。

(安田委員)

生涯学習課の「文化財保護事業」の判定理由において「今年度は昨年度と比較して、講座の依頼回数が減少した」とあります。この文章は平成30年度のことを言っていますか。

(生涯学習課長)

いいえ。平成29年度と平成28年度とを比較しています。

(安田委員)

講座回数目標に比べて実績が多いので、講座の依頼回数が増加しているように感じました。平成29年度に設定した目標自体が平成28年度の実績よりも低かったということですね。

文末に平成30年度と平成31年度の表記があり、どの年度を軸に書かれた文章なのかを確認したかったので質問させていただきました。

## 7 事務局報告

### (1) 教育総務課・・・報告者：教育総務課長

#### ○但馬教育委員会連合会：理事会・総会・研修会について

→7月9日(月)に八鹿公民館(養父市)で開催

#### ○6月議会について

##### ①香住第二中学校大規模改修工事の請負契約を締結することについて

→全員賛成で原案通り可決

→工期は7月21日から11月30日までの予定

→工事期間中の部活動は、多目的室及び奥佐津・佐津小学校の体育館を使用

→2学期の体育の授業は、基本的に運動場で実施

(体育祭までの雨天時：香住B&G海洋センターの体育館まで車両送迎)

(体育祭後の雨天時：佐津小学校の体育館を使用)

→送迎の都合上、体育の授業を2時限連続で実施し、授業日数等を確保

##### ②香美町家庭保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

→賛成多数で原案通り可決

##### ③香美町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

→全員賛成で原案通り可決

##### ④一般質問について

・「幼稚園及び小中学校の熱中症対策について」(東垣典雄議員)

- 町内における緊急搬送等はないが、体調不良等により保健室で対応した事例は7校園
- 学校園においてこまめに水分補給を行うとともに、熱中症の危険性がある場合は注意喚起をするなどして活動場所及び内容を変更
- エアコンは香住幼稚園、香住小学校、香住第一中学校に設置済み。ほかの学校園については、温度計を配付し基礎データを収集中
- ・「学校園における環境衛生管理のうち、温度基準の遵守の現状について」(見塚修議員)
  - エアコンの設置にあたり、現在学校園の状況を調査中であり、その結果を基に対応
- ・「大阪北部地震における香美町の対応について」(見塚修議員)
  - 6月19日の朝に教育長の命を受け、点検調査を学校園に指示
- ・「空き家対策について」(藤井昌彦議員)
  - 町長が教育長へ通学路内の空き家を点検するよう指示
- ・「通学時の安全対策及び見守り隊の現状について」(西谷高弘議員)
  - 全小学校区単位で見守り隊を編成。10団体515名の協力を得て実施中
- ・「病児保育の開設時期及び宝樹保育園の新園舎の建設状況について」(西谷高弘議員)
  - 病児保育は予定通り7月に香住病院で開設。宝樹保育園の新園舎の建設は順調に進捗

(2) こども教育課・・・報告者：こども教育課長

- 病児保育室「おひさま」について
  - 7月2日(月)開所。実施場所は公立香住病院の2階
  - 配置職員：2名(保育士：1名、看護師：1名)
- 第57回兵庫県へき地・複式教育研究大会(平成30年度但馬地区へき地・複式教育研究大会)について
  - 11月16日(金)に小代小学校及び小代中学校で開催

(3) 生涯学習課・・・報告者：生涯学習課長

- 子ども会育成連絡協議会：球技大会について
  - 7月21日(土)～8月4日(土)に美方郡内各所で開催

8 その他

なし

【次回委員会の日程】

次回定例会は、7月23日(月) 午後2時～

9 閉会

香美町教育委員会会議規則第27条の規定によりここに署名する。

平成30年6月26日

教育長

藤原健一

香美町教育委員会

署名委員

安田優二

会議録作成者：教育総務課 主査 大城 優